

◆遠賀町◆

～遠賀川の「水の恵」を学ぶため、上流と下流の児童たちが交流～

8月18・19日

福岡県中間市と遠賀郡の4町では、広域的な地域振興に取り組むため、平成21年4月に「遠賀・中間広域プロジェクト推進会議」を設立し、地域のNPO法人と力を合わせて、様々な取り組みを進めてきました。

今回は遠賀川を守るために活動する各団体から講師を立てて、遠賀川の“歴史・役割・環境”を学ぶ講座を開講しました。



詳細はこちら

集まったのは、遠賀川中上流の嘉麻市・飯塚市・直方市から25名、下流の遠賀・中間地域から25名、計50名の児童たちで、同じ遠賀川でも、水の流れる様子や、文化、歴史など環境が大きく違うエリア同士が交流する「流イキッズ交流会」となりました。



楽しい生物調査



修了式では、市長、町長などそうそうたる顔ぶれが参加されました。



発表会は各班に分かれてみんなでまとめた成果を競いました。



緊張の発表会「私たちが感じた遠賀川」を発表しました。

修了式では、2日間で学び感じたことを各班毎に発表しました。関係する市長・町長等も参加され、児童達がまとめた遠賀川への思いを受け止め、熱心にアドバイスを送り、「今の気持ちを大切に、共に美しい川にしていきたい」と締めくくりました。

上流の児童からは「自分達が知っている川よりも大きくて同じ川とは思えなかった」、下流の児童たちは「初めて魚とりをした。多自然魚道に入ると、小さなカニやエビがたくさんとれてとても楽しかった。」などの声が聞かれました。「遠賀川をきれいにしたい」「遠賀川を魚がいっぱい棲むきれいな川にしていきたい」との声が数多くあがり、確実に環境への意識が芽生えているのを実感することのできる取り組みとなりました。

◆嘉麻市◆

当たり前前の風景をまもる為に 7月8日

水音が耳を優しく包み、緑が目癒してくれる、そんな遠賀川を取り戻すために「宮吉区遠賀川をきれいにする会」主催で川の草刈りと総会が行われました。宮吉区は水がキレイで、夏にはホタルが飛び交う素晴らしい風景が残ります。そんなふるさとを次世代へと繋いでいくため、区民は地域づくりや保全活動を定期的に続けています。



ふるさとへの熱い思いであつまりました



詳細はこちら

ボランティアですが、毎回多くの方が集まります

ゴミ拾いと草刈りが終わると総会が開かれ【心を癒すふるさとの自然を次世代に残すために】とのテーマで議論がとりかわされました。「昔は当たり前のように外に出て自然と触れあうことができていたのに、それが今でも可能な場所は少なくなっている。」「それでも子どもたちと川で遊ぶ機会が多いこの地域は本当に恵まれている。」などの意見があり、「今までは草刈りで終わっていたが、残された自然を活かした取り組みをこれから実施したい。」と話されていました。



田川市を流れる中元寺川で「タガッパ学校 i n 田川」が開催され、小学生約20人が参加しました。この取り組みは、国、県、市の協力のもと市民団体「田川ふるさと川づくり交流会」が毎年開催しているものです。「タガッパ」は「田川」と「カップ」を組み合わせた造語で、元気よく、川に親しみ、川を大切に思う心を持ち、河童のように元気よく育ってほしいと願って名付けられました。



早速、ライフジャケットで身を固めた児童たちは“カヌー体験”に挑みました。はじめに進め方や止め方を教わると、いそいそと川へ漕ぎ出しました。最初はカヌーが回転したり、ぶつかったりと悪戦苦闘していましたが、すぐにコツをつかみ、器用にパドルを操りながらスイスイと流れを上り下りできるようになりました。

その後、水の透明度や、バックテストでCOD（化学的酸素要求量）を調べましたが、水質は「大変汚い」という結果に。参加した小学生は「カヌーはとても楽しかったけど、水が汚いと知ってショック!」と話しており、水質改善の必要性を認識しました。



悪戦苦闘中・・・



川の中にも入りました。

彦山川の川下りに小学生が挑戦!! 航路なんと14km(田川～直方)



詳細はこちら

6月9日（土）、タガッパ学校（上記参照）やカヌー教室を体験した小学4年生～6年生18名が、田川市から直方市までの約14kmを、一人乗りカヌーで川下りに挑みました。

早朝、河川敷に集まったみんなは顔がこわばり、見るからに不安な様子。それを見つめる保護者はさらに心配そう。

おそろおそろスタート。みんな不安気・・・



そんな空気をかき消すかのように主催者、田川市教育委員会の挨拶がはじまりました。「これから直方まで大変な航程ですが、あきらめないで頑張ってください。今日の体験は、皆さんがこれから歩いていく人生に似たところがあると思います。波があり、障害物ありで大変な時もあるでしょうが、ゴールに向かって一生懸命頑張ってください。」との言葉がありました。

ルートの途中には2カ所の堰（高柳堰・岡森堰）があり、児童たちはカヌーをかついで進まなければなりません。さらに今年は水量が少なく、船を曳いて川の中を歩く場面もありましたが、児童たちは、果たして無事に完走できたのでしょうか。

立ちふさがる
障害物・・・



水がすくない・・・



今回の冒険は、残念ながら時間切れでゴール手前の岡森堰で終了となりました。心配していた保護者は、「代わってあげたかったけど頑張っていた。」「心配でおいさんと見に来ましたが、本当によく操ってきました。」「感動している様子。

最後に児童の感想をどうぞ。「伊田からカヌーを漕いできた、川のいやなにおいがした。下っているうちに慣れたけど、やっぱりきれいな川で遊びたい。」

感動のゴール!? 残念ながら途中で終了でした。

◆飯塚市◆

水辺のたんけん隊

6月27日

飯塚市立鯉田小学校3年生35人が、飯塚市防災センターで開かれた自然体験教室で、市内を流れる遠賀川のことを学びました。

汲んできた水を手に取ると「甘酸っぱい臭いがした。」「濁っている。」との感想。それに比べて水道水では「きれいな色で、いつも飲んでいる香り。」と一言。次に児童たちは専門的な道具で実際に水のきれいさを測ってみました。



まずは遠賀川の水を調べます。児童たちが真剣に試験した結果は“きれいな水”と判定され、みんな少し首をかしげました。この日は雨が降っており、雨水が混じる事で結果を良くしたようです!?

次に水道の水です。「皆さんが毎日飲んでいる水道水はどんな結果になるでしょう?」と先生から言われた児童たちは“きれいな水”との判定に、さすがにほっとした様子。

初めて扱う道具に慎重になりながらも、無事に準備を終えた子供達。

続いては水道水に牛乳を一滴落とす実験です。するとどうでしょう、一瞬で濁ってしまいました。児童たちは一様にびっくり。すかさず先生は「牛乳一滴でもこんなに水が汚れます。川はこの積み重ねで汚れていきます。みんなのできる方法で川を汚さない事が重要です」とたたみかけると、児童達は、「牛乳や食べ物は残さないように、川に物を捨てないようにすることが、川をきれいにしていくことだと分かりました。」との言葉。遠賀川をもっときれいにするべきだと痛感したようです。



◆遠賀川流域◆

詳細はこちら

第18回 I LOVE 遠賀川流域住民交流会in嘉穂 6月17日

遠賀川流域の環境改善を考える「I LOVE 遠賀川流域住民交流会 in 嘉穂」(NPO法人遠賀川流域住民の会など主催)が嘉麻市の「夢サイトかほ」で開かれ、約100名の参加者が住民団体の活動報告などに耳を傾けました。

交流会は、ごみ問題や環境改善などに取り組むため流域各自治体で年に1回開かれており、今年で18回目。嘉麻市役所生涯学習課文化財係長の福島日出海氏による『久保田堰の舟入り』と題した基調講演に続いて、「ヤマメのふ化・飼育そして放流」、「中島自然再生事業」、「堀川の自然を活かした地域おこし」などの活動、事業紹介がありました。今回は、ヤマメをとおした宮野小学校の環境学習報告を紹介します。



来賓挨拶
松岡 賛 嘉麻市長



西澤 洋行
遠賀川河川事務所長

「ヤマメのふ化・飼育そして放流」嘉麻市 宮野小学校

遠賀川の源流である馬見山のふもとに宮野小学校があります。学校の前には源流の流れはそのままに、ゴミもほとんどない美しい遠賀川があります。そんな身近な河川について毎年各学年ごとに学習しており、今回は6年生が「ヤマメのふ化・飼育そして放流」と題して成果を発表しました。

まずは、校区を流れる遠賀川の水質調査を行いました。透明性、パックテスト等の全てで「とてもキレイな川。」だと証明されました。

続いて、学校の近くで、昔たくさん生息していたヤマメがいなくなった事から、ヤマメの飼育活動について発表しました。毎年秋になると学校に水槽を用意し、受精卵を育てる事から始めます。卵が2週間ほどでふ化すると、稚魚の飼育です。数ヶ月後、5cmほどに大きくなった稚魚達を放流します。「たくさんのヤマメが元気に育ってほしい。そのためにもきれいな遠賀川をずっと守っていききたい。」との報告で締めくくられました。



元気に発表してくれた
嘉麻市立宮野小学校
6年生のみんな



木彫りの実演会
佐藤光良さん



おりお堀川を愛する会 重藤さん



中島自然再生事業
柴田さん



久保田堰の舟入り
福島さん

遠賀川河川事務所からのお知らせ ～大雨・洪水への備え～

遠賀川河口域における不法係留船対策について

1. 遠賀川河口域における不法係留船の現状

遠賀川水系では、バブル期にプレジャーボートの所有が増加したことなどにより、遠賀川河口部周辺及び支川西川において、多数の船舶が河川管理者の許可を得ずに係留されるようになり、治水上や周辺地域への環境（ゴミ・騒音・違法駐車等）に悪影響を及ぼしています。

このため、平成20年より本格的な不法係留船対策を実施しています。

遠賀川河口域における係留船舶数の推移

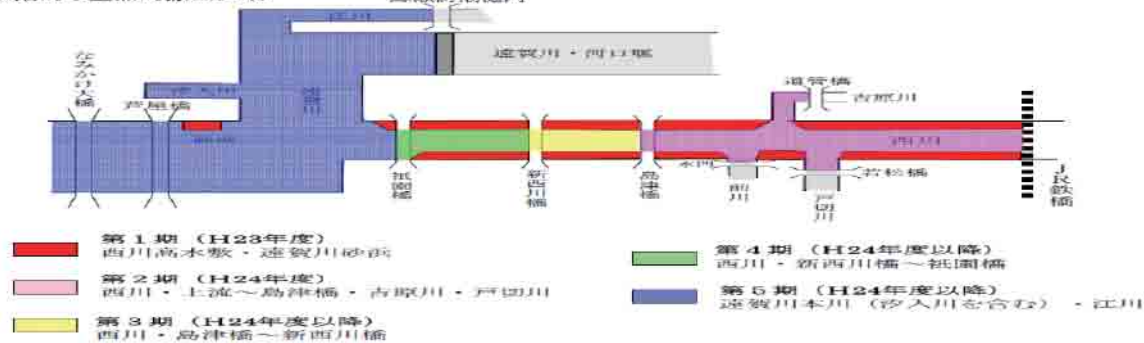


2. 遠賀川河口域の不法係留船対策状況

平成22年に設立した「遠賀川河口域利用対策協議会」の議論を経て、平成23年2月に『遠賀川河口域における不法係留船対策に係る計画』を策定し、平成23年度に第1期重点的撤去区域として、遠賀川河口砂浜部及び西川の高水敷の対策を行いました。

平成24年度は、第2期重点的撤去区域として、西川の島津橋から上流域の対策を実施しています。

段階的な重点的撤去区域



※重点的撤去区域に指定された水域では、周辺環境の維持と治水の安全を確保するために、船舶の係留規制（強制撤去）が徹底されます。

9月30日	日	嘉麻市	第3回源流の森再生応援団	NPO遠賀川流域住民の会
10月6日・7日	土・日	飯塚市	第6回福岡県竹林サミットin飯塚	福岡県竹林サミット実行委員会
		福岡市	第12回九州「川」のワークショップin福岡	第12回九州「川」のワークショップin福岡 実行委員会
10月7日	日	北九州市	堀川いっせい清掃	堀川まちおこし実行委員会
10月8日	月	北九州市	笹尾川カヌー教室	笹尾川水辺の楽校
10月14日	日	飯塚市	I LOVE遠賀川	NPO遠賀川流域住民の会
		嘉麻市	I LOVE遠賀川 in 嘉穂	NPO遠賀川流域住民の会
		嘉穂市	I LOVE遠賀川 in 稲築	NPO遠賀川流域住民の会

遠賀川流域だより

皆様のご意見、ご感想をお寄せください。

発行 国土交通省遠賀川河川事務所

住所 直方市溝堀1丁目1-1

電話 (0949) 22-1830

FAX (0949) 22-2859

HPアドレス <http://www.qsr.mlit.go.jp/onga/>



協力 NPO法人遠賀川流域住民の会

電話 0948-22-3535

<http://www.ongagawa.jp/>